

第129回東北地方交通審議会
船員部会議事要録

令和元年7月26日
東北地方交通審議会
船員部会事務局

東北地方交通審議会 第129回船員部会

日 時 令和元年7月26日(金) 13:30～

場 所 仙台第4合同庁舎 4階会議室

出席者 公益委員 : 高橋(真)部会長、増田部会長代理(欠席)

豊田委員、佐々木委員

労働者委員 : 熊谷委員、高橋(雅)委員、鈴木委員(欠席)

使用者委員 : 勝倉委員(欠席)、白幡委員、平岡委員

運輸局 : 畠山海事振興部長、丹藤海事振興部次長

佐藤船員労働環境・海技資格課長

柳田船員労政課長、鈴木専門官、渡邊労政係長

議 題

(1) 管内の雇用等の状況について

(2) その他

(資料)

- 資料1 船員職業安定業務取扱状況説明資料(5月分)
- 資料2 新規求人・求職数(東北管内:3年対比)
- 資料3 有効求人・求職数(東北管内:3年対比)
- 資料4 新規求人・求職数(全国)
- 資料5 有効求人・求職数(全国)
- 資料6 有効求人倍率(東北管内)
- 資料7 有効求人倍率(全国)
- 資料8 船員の特定最低賃金の改正に関する検討資料
- 資料9 2018年度 水産高校等新規学卒者船員就職状況調査
- 資料10 「めざせ!海技者セミナーin仙台」開催結果概要プレスリリース
- 資料11 新聞情報

(参考資料) 東北運輸局業務案内2019
海事レポート2019

◎開 会

【丹藤海事振興部次長】

〔第129回船員部会の成立状況について報告〕

〔配付資料の確認〕

◎議 事

(1) 管内の雇用等の状況について

【高橋（真）部会長】

それでは、議事に入ります。

議事次第の「議題（1）管内の雇用等の状況について」、事務局から報告をお願いします。

〔柳田船員労政課長から資料1から資料7に基づき報告〕

(2) その他

【高橋（真）部会長】

ありがとうございました。

ただいまの報告内容について、ご意見、ご質問ありますでしょうか。

なければ、ご了承いただいたものとし、続きまして、「議題（2）その他」に入ります。

初めに資料8について、事務局から説明をお願いします。

〔柳田船員労政課長から資料8に基づき説明〕

【高橋（真）部会長】

ありがとうございました。

ただいまの説明内容について、ご意見、ご質問ありますでしょうか。

なければ、次に、資料9、10について、事務局から説明をお願いします。

〔柳田船員労政課長から資料9、資料10に基づき説明〕

【高橋（真）部会長】

ありがとうございます。

ご意見、ご質問はありますでしょうか。

【高橋（雅）労働者委員】

今回、司厨部関係で、テクニカルクッキングカレッジや山形の調理師専門学校の生徒さんが参加していますが、初めてですか。

【柳田船員労政課長】

昨年も何名かいました。今回は、参加者募集のプレスリリースやチラシの中に司厨部の求人募集もありますということを書いたところ、若干、参加者が増えました。

【高橋（真） 部会長】

そのほかありますか。

なければ、次に委員の皆様からの情報提供に移りたいと思います。

初めに、労働者委員からお願いします。

【高橋（雅） 労働者委員】

新聞情報にもありますが、来年度の公海上の漁獲枠が年間33万トンに決まりました。また、今年5月、公海サンマに20隻ほど出漁しましたが、初めは少しよかったようですが、後半は全然大きいサンマがいなかったということです。今年の本操業のときに大型魚がとれるのか心配しています。

【高橋（真） 部会長】

わかりました。次、熊谷委員、お願いします。

【熊谷労働者委員】

今月の18日に、漁業・養殖業復興支援事業、俗にいうがんばる漁業ですが、その第29回の中央協議会が開催され、小名浜地区の大中型まき網漁業と、江名・中之作地区のさんま棒受網漁業の船をこのがんばる漁業を使って代替建造するという事に決まりました。今現在ある、まき網船の中のまず運搬船2隻の代替と、サンマについては江名漁協と中之作漁協の所属の3隻について代替建造をすることです。福島第一原発の事故後、入港船や水揚げも減っている中、小名浜の水揚げ量を回復させ収益性を確保する復興計画という申請が承認されたということです。サンマ船については、再来年までには建造を完了して、出港させたいということです。

【高橋（真） 部会長】

ありがとうございます。

それでは、使用者委員お願いします。

【白幡使用者委員】

令和元年の一般旅客定期航路事業の経営状況等実態調査の結果がまとまりましたので、ご報告します。

全国で一般旅客定期航路事業者は342社ありますが、その中で220社から回答があり、経営上の大きな問題点として4つほどありました。まず、燃料高が67%、

そして人材不足が54%、今後の船舶の建造・代替建造が37%、それから売り上げ不振が36%です。

その中で、人材に特化した形では、176社から回答があり、船員が足りていると回答している会社は29%、不足しているが35%、5年以内に不足するという会社が35%です。不足している職種は、航海士、機関士、甲板部員が多いということです。そしてまた、船員不足対策としては、退職船員の活用が最も多く47%ございました。今後、船員不足の影響がより拡大していくのではないかと報告されております。それと、運航、航海、機械に携わる女性船員を雇用している事業者は現在23社で、14%になっております。中でも船員が不足していると回答した事業者で最も多かったのが、離島航路を営んでいる事業者で、約7割を占めております。ここ1年間に船員を採用した事業者は109社、採用者数427人の内訳ですが、新規採用が48%、中途採用が52%となっております。新規採用の船員の採用元は、水産高校が57%、海技教育機構が43%です。それから、中途採用船員の採用元は、外航海運、内航貨物が大体49%、あと他産業から34%の転職があったと報告されております。

【高橋（真） 部会長】

ありがとうございます。

では、平岡委員、お願いします。

【平岡使用者委員】

7月1日に日本内航海運組合総連合会の内航船員確保対策協議会、意見交換並びに情報交換会が東京の海運ビルで開催されました。今年も内航船員確保対策協議会活動補助の特別予算枠として、昨年と同額の1,800万円が計上されました。

東北に関する話題としては、先ほど説明がありました「めざせ！海技者セミナーin仙台」の件で、申し込んだがもういっばいで断られたという会社があり、内航総連からも予算を出させるので、来年度から少し枠を増やしてもらえないかという話がありました。

【柳田船員労政課長】

ずっと使っているイベントホールですが、そのホールはAホール、Bホールがつながるスタイルになっていて、それを今現在は、半分だけ使っています。今半分で20ブースつくっているの、倍の広さでやるとなれば、単純計算で40社、40ブースぐらいまでは広げられると思います。

【平岡使用者委員】

では、40社ぐらいであれば何とかなるということですか。

【柳田船員労政課長】

そうです。ただ、使っていない側のスペースは少し暗くて、ブースのパーテー

ション、什器類のほかに照明設備を追加で頼まなくてはいけないので、経費は結構かかると思います。

【平岡使用者委員】

では、検討していただいて、よろしくをお願いします。

【高橋（真） 部会長】

イベントホールの変更はできないのか。

【柳田船員労政課長】

今そこを選定しているのは、使用料が安いことからです。

【高橋（真） 部会長】

参加する企業からエントリー料は取っているのか。

【柳田船員労政課長】

取っていないです。

【高橋（真） 部会長】

参加したい企業があるのであれば参加料をとり、条件のいいところで全部参加させ、学生や生徒が選びたいところを選ぶ、というふうにしたほうがいいと思いました。

要は船員不足といいながら、企業というか使用者が参加したいのに排除するという、そういうホールの条件だけで排除してしまうというのはお互いにメリットがない。学生や生徒からすると、もっと実はあそこに行きたかったとか、聞けばそこに決まったかもしれないという可能性があるのにそれを排除しているというのは、船員不足といいながら、もっと門戸を広げる形をとればいいんじゃないかと思います。

【平岡使用者委員】

今までお金を取るという発想がなかったので、確かにそのほうが公平です。

【高橋（真） 部会長】

船員不足をどうやって解消するかが問題なので、逆に言えば、参加したい企業があるのであれば全部出してもらって、学生や生徒が全ての情報を知った上で望ましい企業に行くというのが一番いいと思います。金がかかるのであれば参加企業から取り、それでオーケーですというのであれば、そのほうがいいと思います。

【豊田公益委員】

実際参加したかったが、できなかったという会社は、どれくらいありましたか。

【柳田船員労政課長】

数えてはいませんが、結構な数です。

【高橋（真） 部会長】

だから、それは、学生や生徒の選択肢を狭めることになり、逆に言えば、行政が人員不足を助長しているという話になりかねません。採用したい会社、参加したい会社があるのであれば、とにかく全部、なるべく多くの会社に出てもらう形をとらないといけないと思います。仮に、予算的な問題があるならば、前もって打診の上、使用者側の団体の主催とし、運輸局は協賛という形にはできないのでしょうか。

【柳田船員労政課長】

職業紹介所という縛りがあるので運輸局が主催という形をとらないとだめです。

【高橋（真） 部会長】

そうであれば、なおさらお金を援助してもらう形をとったほうがいいと思います。

【豊田公益委員】

その辺はいろいろとやり方があると思います。部屋が狭くてこれ以上呼べないというのだけはもったいないです。

【高橋（真） 部会長】

海技者セミナーは毎年やっているのでも、前もって使用者側の団体に話をし、予算を確保してもらったらいいと思います。

【豊田公益委員】

予算だから、毎年、きちんと使っているという実績があれば、次年度も大丈夫です。

【柳田船員労政課長】

毎回、いろいろな課題が出てくるので、今後も引き続き相談させていただきながら、開催していきたいと思います。

【高橋（真） 部会長】

そのほか、ありますか。

なければ、本日の議事を終了いたします。ありがとうございました。

次回の船員部会は、8月23日金曜日の13時30分から、会場は2階の会議室で開催いたします。

◎閉 会